



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和元年 11月29日

豊玉中学校だより No. 7

E-mail info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp

URL <http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

進め！学力向上プロジェクト

校長 江川 誠志

秋が深まって参りました。先月、開催されました学習発表会では、260名以上の保護者や地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。当日の講評の中で3つのことを話しました。①**舞台発表**：振り返りのキーワードは「表現力」。自分の目指すものを、きちんと表現できたかどうか。②**展示発表**：振り返りのキーワードは「プロセスの評価」。何ができて何ができなかったのか。また、他の人の多様な表現から学ぶことの大切さ。③**これからソサエティ5.0の未来社会に向けて、しっかりと変化する社会に対応できる力を身に付けてほしい**ということ。今後もさら



に充実した内容で発表できるよう、工夫してきたいと考えています。さて、令和3年度から新しい学習指導要領が全面実施となります。この先20年、30年後の未来の社会を

子供たちが創っていくという学習指導要領の在り方が前提になっています。これからは、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善が必要」となります。本校では、今年度から『チーム学習による「学びの主体者」の育成』～課題解決を軸とした授業改善を通して～をテーマに、3年計画で「学力向上プロジェクト」の取り組みを始めています。目指すゴールの3要素として

1. 教師全員の授業力・スキルの向上と、自信にあふれた授業の展開
2. 生徒の主体的な授業への参加と自ら学ぶ意欲の醸成
3. 結果としての学力の向上

を掲げています。次年度（2年目）は、今年度の「構想・試行期」から次の段階の本格的な「拡充・展開期」に入ります。これからの豊玉中学校の取組にご期待ください。



「豊玉中」が詰まった舞台発表

舞台生徒責任者 3B 佐藤 彩

元号が令和に替わり、初の学習発表会。大きなトラブルもなく豊中らしい最高の舞台発表になったのではないのでしょうか。私は3年間実行委員を務めました。今年は何の年よりも良い舞台だったと思います。それは、舞台発表を手伝ってくれた委員会の皆さんや、良い発表で盛り上げてくれた発表者の皆さんだけではなく、見ていた皆さんが協力し、一緒に素晴らしい舞台を作り上げてくれたからこそだと思います。

私は実行委員の仕事をする中で特に好きなことがあります。それは舞台発表ができあがっていく様子を見ることです。舞台練習では、上手くいってなかった団体が、リハーサル時点ではほぼ仕上がっていて、皆さんの学習発表会に対する熱意を強く感じました。

3年生になり、受験に向けてやることも多くあり、やりきるのはとても大変でしたが、発表を終えた今は、やってよかったと達成感を感じています。後輩たちが、この学習発表会をよりよいものに変えながら、引き継いでいってくれるといいなと思いました。

「豊玉中学校らしさが形に」

展示生徒責任者 3C 宇田川 晴希

「令和初、という大きな節目の年の学習発表会。生徒みんなが、時間をかけ、苦労し、自分らしさがある作品をつくりあげました。悩み、考え、放課後遅くまで残って一生懸命作品を作っている姿を見かけ、当日の展示がとても楽しみになりました。

当日の展示作品は、どれも目を奪われるような素晴らしい作品ばかりでした。そして、その作品を見やすく、より際立たせていたのは、各教科の展示係の人たちの工夫です。努力を積み重ねてできあがった作品、そして、それをより良く見せるための工夫。みんなの力が形になった展示発表だったと思います。

展示作品は、舞台発表に比べるとやや地味な感じもします。しかし、全生徒が輝けた展示作品は、豊玉中の「何事にも一生懸命取り組む」という伝統を形にしたように感じました。



3年 社会科 出前授業

3学年 社会科担当 谷 信彦

11月5日、12日の二日間、3年生の社会科で出前授業が行われました。講師に東京青年会議所の方々をお招きして、ワークショップを取り入れた興味深い授業をしていただきました。授業内容は、「模擬請願をしよう!」です。練馬駅周辺をより良くするためにどのような解決策が考えられるか。4人組でチームをつくり、知恵と経験を出し合いながら、区役所に提案する要望書を作成しました。

2回目の出前授業では、東京青年会議所の方々に加え、区役所の職員の方も来校され、生徒の要望書に対して丁寧な回答をいただきました。鋭い視点で考えられた提案を褒められたり、一方で実現の難しさを指摘されたりと、社会を動かすことの大変さにも少し気付けたようです。

この授業を通じて、誰もが自分たちの住むまちを良くするために行動することができるという「主体的市民」としての意識に、少しでも気付いてくれると嬉しいです。最後に、あるチームが提案した要望です。

「駅前の交差点を、斜め横断可能な環境に整備してほしい」

命の教育

道徳授業地区公開講座 担当 大野 真由美

11月9日(土)に、道徳授業地区公開講座が行われました。1校時には、各クラスで、生命尊重をテーマとした授業が実施されました。

その後の体育館で全校生徒を対象とした岩谷 湍先生による「命の授業」は、先生の故郷である被爆地長崎での戦争体験についてのお話でした。

中学生が軍需工場で働かなくてはならなかった時代、生まれたばかりの岩谷先生を、ご両親は身をもって命がけで原爆の爆風から守り、奇跡的に助かったとのお話でした。その後も、お母様は放射能による原爆症に苦しみながらも、亡くなる直前まで愛に満ちた眼差しで岩谷先生を見守ってくださったそうです。

授業の終盤に、岩谷先生が「命は一つだけで、一度なくした命は絶対に戻ってこないこと、命を大切にすることが、平和な世界を創ることにつながるということ。」「自分の隣にいる人への思いやりの心をもつこと、相手を大切に、相手の痛みを理解し、相手の喜びを理解することこそが、世界の平和につながる。」というメッセージを授けてくださいました。岩谷先生の「命の授業」に参加していただいた保護者の皆様からは「子供の心にどのように響いたのか、帰宅後に話し合ってみたいです。」とのご意見をいただきました。

後期 生徒会

生徒会役員 (敬称略)

会長: 片柳 杏菜 副会長: 田原 千清
庶務: 小田野 りせ 広報: 金森 瑛
書記: 黒田 彩葉

活動方針

挨拶、礼儀、思いやりをもった学校に
豊中生のために5人で一致団結

活動方針の設定理由

挨拶: 朝礼や号令で声が少なく感じる事が多く、挨拶はみんなができるようにしたい。

礼儀: 豊中生として、正しく標準服を着ることを徹底させる。

思いやり: 友達、先生、周りの人への態度を全員が考えてほしい。

専門委員会 役員 (敬称略)

	委員長	副委員長
3学年学級委員会	小澤 りか	丸山 優陽
2学年学級委員会	諸橋 真生	佐田 実咲
1学年学級委員会	尾崎 舜星	伊藤 ななは
整美委員会	長崎 美月	石川 友渚
衛生委員会	北野 結女	風間 愛梨
図書委員会	柿岡 千陽	高橋 葉音
放送委員会	遠藤 美季	岡崎 瞳

12月の予定

3日(火)~10日(火)	個人面談
14日(土)	校内ダンス発表会
14日(土)	2年 スキー移動教室保護者会
24日(火)	大掃除
25日(水)	2学期 終業式

学校は次の期間、機械警備になります。

12月29日(日)~1月3日(金)

1月の予定

8日(水)	3学期始業式
9日(木)~24日(金)	校内書初め展
11日(土)~15日(日)	区生徒作品展

